様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　２年　６月２９日

愛 知 県 知 事　殿

提出者

住 所　愛知県刈谷市昭和町１丁目１番地

氏 名　株式会社 デンソー

取締役社長　　有馬　浩二

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０５６６－５６－３１１２

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	株式会社デンソー　本社工場
事業場の所在 地	愛知県刈谷市昭和町１丁目１番地
計画期　間	令和　２年 ４月　　１日　～　令和　３年 ３月 ３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

１　事業の種 類	電気機械器具製造業
２　事業の規 模	製造品出荷額 ７，５７５，２６１万円 ／年
３　従業員 数	１４，５０４人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物排出の概要 ・ＩＣウエハの製造 ・製品開発及び耐久等試験、実験等からの廃棄物 産業廃棄物発生フローは別紙 資料－１ のとおり

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

<table>
<tr><td colspan="3">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="3">（管理体制図）

別紙　資料ー２ のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">1　現状</td><td colspan="2">【前年度（令和　元年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙 資料ー３　-①　のとおり</td></tr>
<tr><td>排出　量</td><td>別紙 資料ー３　-①　のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">（これまでに実施した取組）
廃棄物の排出抑制
・デンソー各部単位で総排出物削減計画の策定と活動の推進。
前年度排出量原単位から本年の排出量の目安値を設定し管理。
・リユース、リデュース、リサイクル技術の探究、研究と削減策の蓄積及び情報の共有を展開。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙 資料ー３　-②　のとおり</td></tr>
<tr><td>排出　量</td><td>別紙 資料ー３　-②　のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">（今後実施する予定の取組）
社内で発生する排出物【主資材（製品の一部になる物）及び副資材（製品にはならないが生産工程で使用）】について、削減目標値を廃棄物原単位令和元年比１．０％減とし、各部で排出物削減計画を策定し活動を展開する。</td></tr>
<tr><td colspan="3">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="2">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・産業廃棄物：再生比率を上げる質の高いリサイクルを目的に分別を徹底して実施する</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="2">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・汚泥：仕掛け計画改善による材料使用量の削減、徹底した在庫管理による期限切れ廃材料減量等の改善活動で排出量の抑制を図る
・廃油、電装品屑等：設備の更油インターバルの延長や試験実験方法、計画の効率化によるテスト品使用量やサンプル数削減などで発生量の抑制を図る</td></tr>
</table>

		・廃プラスチックなど：分別の精度を向上させて有価物への切り替え比率を上げる

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和　元年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	―	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	―	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	―	t
		（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和　元年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	０ｔ	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	４，４０６ｔ	t
		（これまでに実施した取組） ・脱水装置の適正な管理を実施し、処理能力の維持に努めるとともに 日々の脱水率記録を取り月毎に報告させている。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０ｔ	t

		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	４，３６２ｔ	ｔ
		（今後実施する予定の取組） ・脱水率を向上させるための改善を計画させ実施することで汚泥廃棄物を減少させる。 ・適正な汚濁度測定により状況に応じた汚泥沈殿作用薬注入管理により発生汚泥を抑制する。		

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和　元年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	―	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	―	ｔ
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	―	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	―	ｔ
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和　元年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	ｔ	ｔ
		優良認定処理業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		再生利用業者への	別紙　資料－４－①　のとおり	

			処理委託 量		
			認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t
		（これまでに実施した取組） ・資源ゴミ分別一覧表について２回／年、見直しと更新を行い常に最新版をＤＢに掲載。 各部においては１回／年以上の環境教育を実施するなどして分別意識の維持高揚を図っている ・各部の廃棄物排出実績を月次集計しＤＢに掲載。各部ではそのデータを活用し排出物削減テーマの決定と活動を展開。			

（第５面）

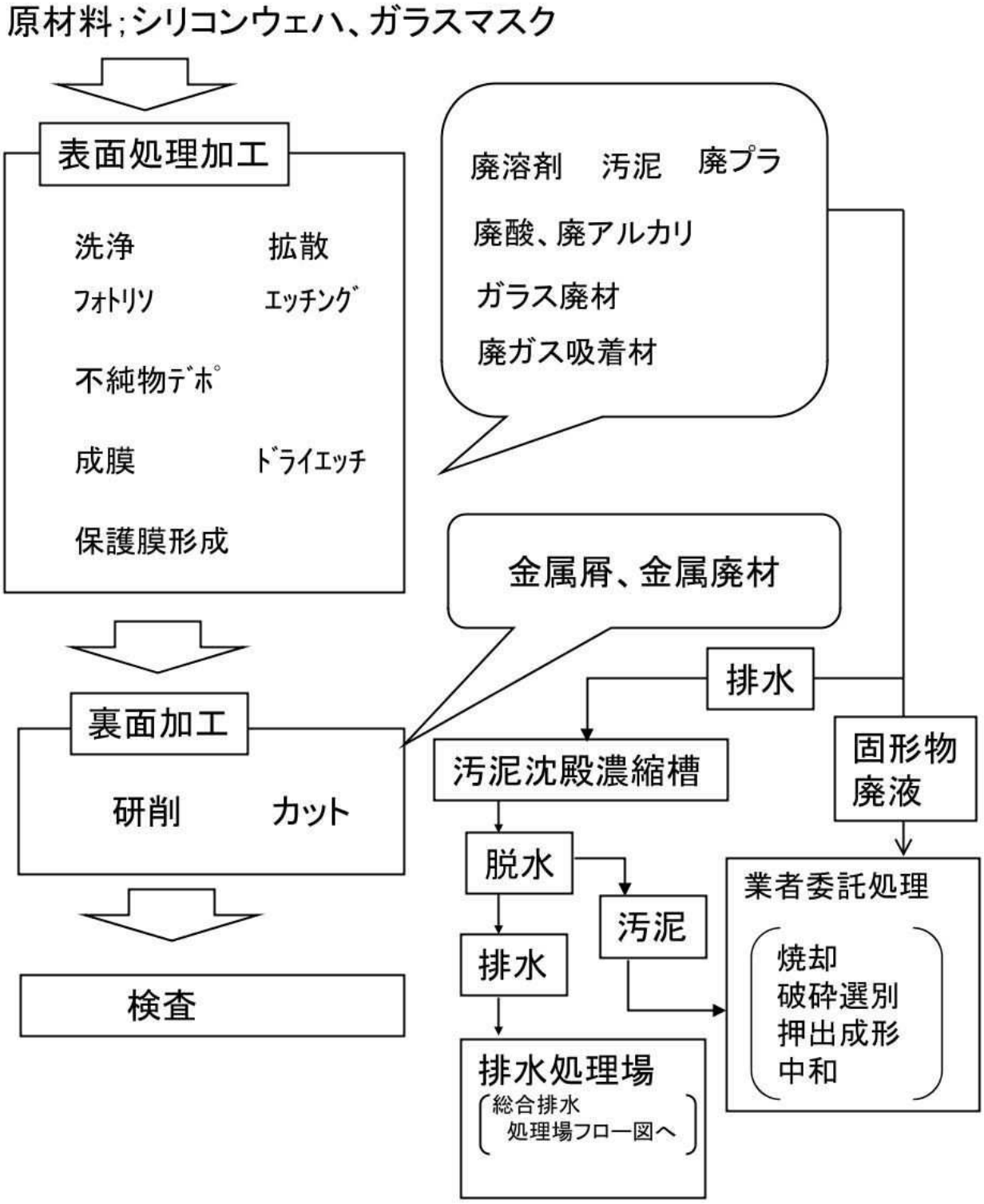
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類			
		全処理委託 量		t	t
			優良認定処理業者への処理委託 量	t	t
			再生利用業者への処理委託 量	別紙 資料 －４ －② のとおり	
			認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t
		（今後実施する予定の取組） ・各部の廃棄物排出量実績フォローによる排出量削減活動の推進。 ・効率の良い仕掛け計画、適正な薬品使用量、在庫管理などにより産業廃棄物の発生量の抑制を図る。 ・廃プラ類など再生比率が多くなるように分別を徹底して実施し廃棄量の抑制を図る ・廃油、電装品屑など更新インターバルの延長や試験、実験方法の見直しにより試料数削減、発生量の抑制を図る			
※事務処理欄					

製造工程等フロー図

1. ウエハ工程フロー図

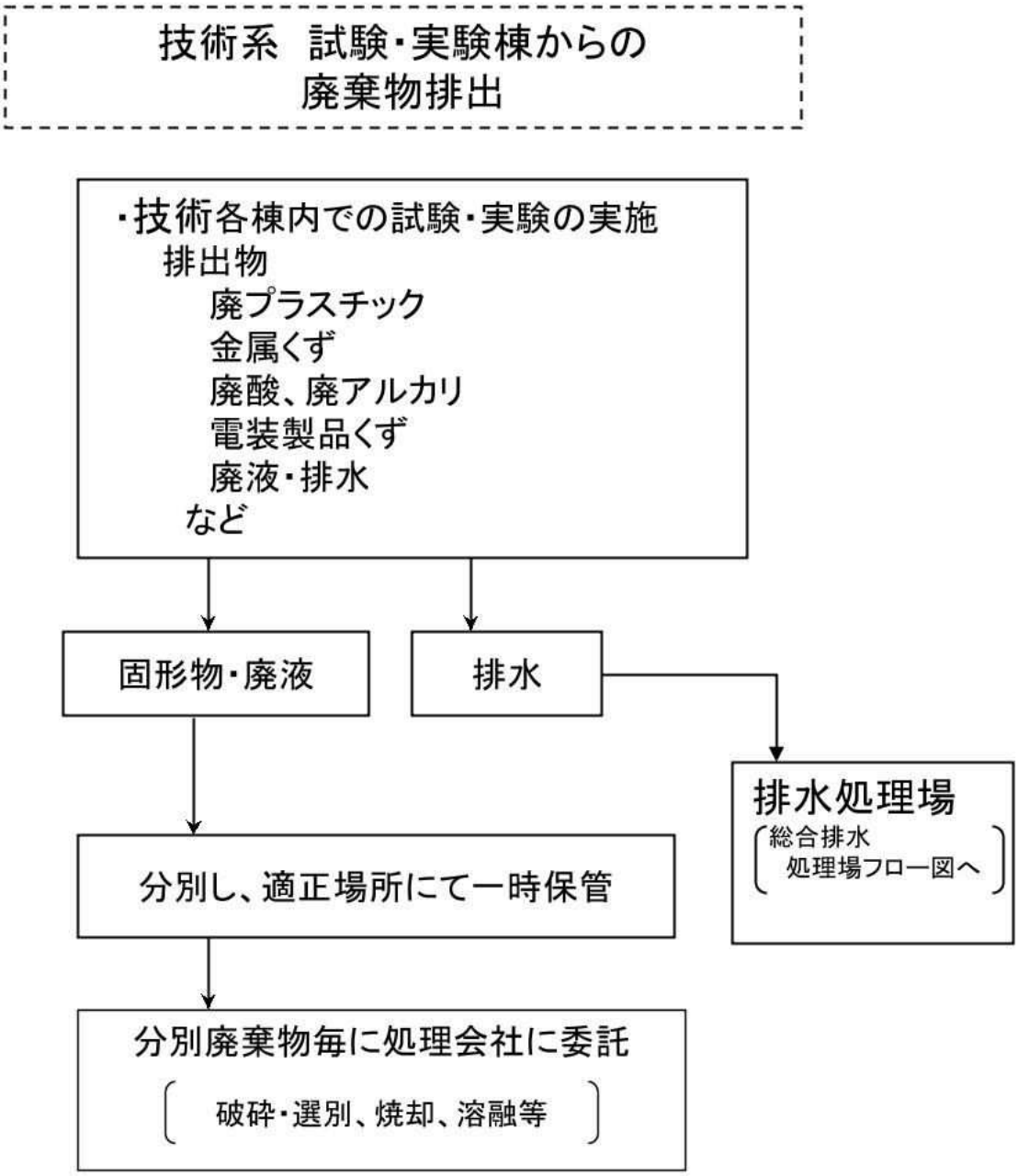
図1

（半導体ウェハ；各種ECU，センサ等）



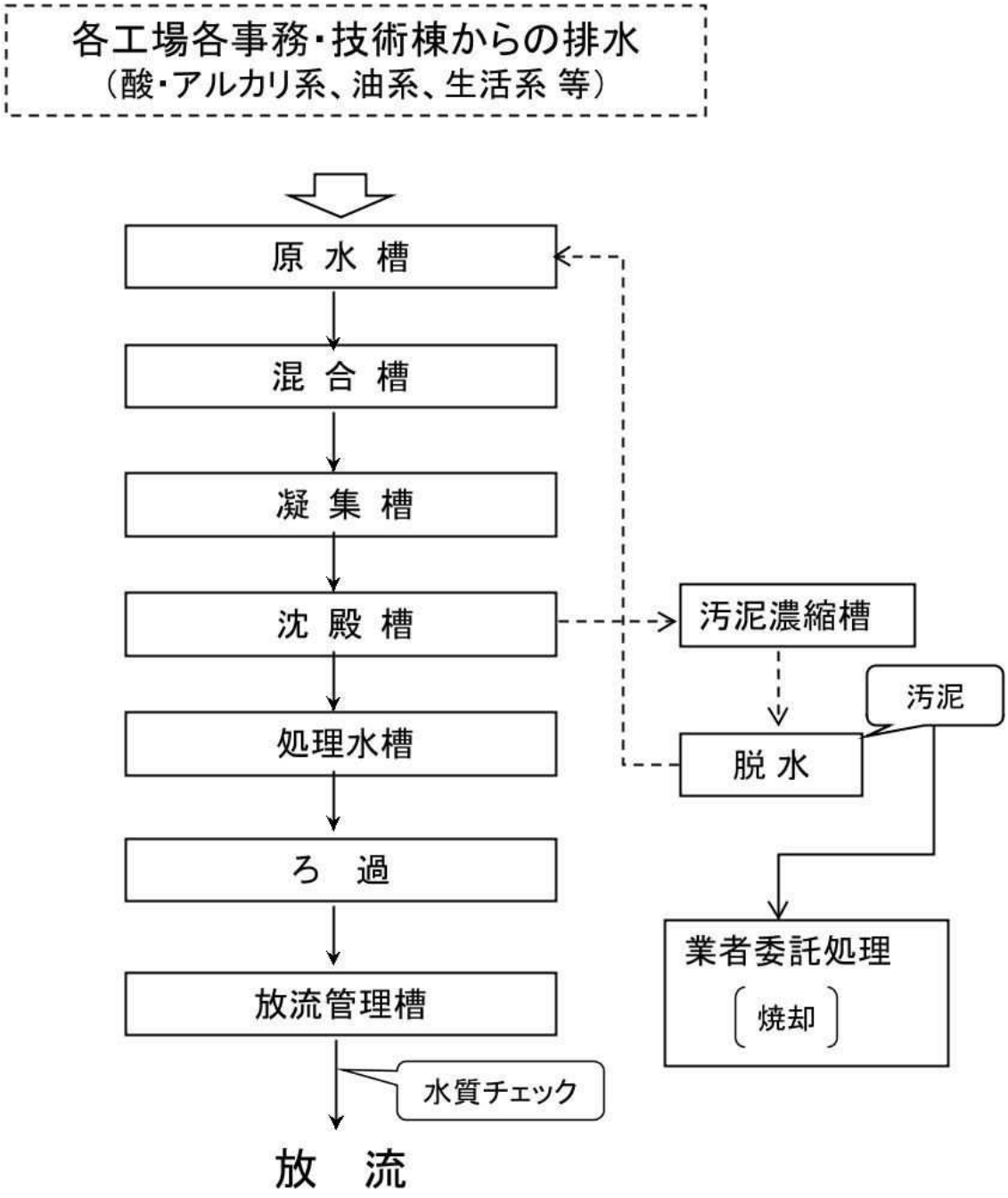
2. 技術系 廃棄物排出フロー図

図2



3. 総合排水処理場フロー図

図3



「産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制」

＜環境管理組織＞

総括環境管理者：
正 ： 安全衛生環境部 担当役員
副 ： **安全衛生環境部 部長**

環境企画管理者：
安全衛生環境部　環境推進室　室長

環境技術管理者：
生産技術部長・施設部長・技術開発推進部長
（又は同相当者）

事業場環境管理者：
正：代表事業Ｇ 等担当役員
副：製作所長（又は同相当者）

環境管理者：
正 ：部長　（又は同相当者）
副 ：室長・工場長　（又は同相当者）

環境技術管理者：
製造部 ：生産技術室長
技術部 ：技術室長
上記以外：副環境管理者
（又は同相当者）

環境責任者：
正 ： 室長、課長　（又は同相当者）
副 ： 係長、担当係長　（又は同相当者）

環境推進者：
班長、担当班長　（又は同相当者）

〈本社環境委員会〉

委員長　：総括環境管理者
（安全衛生環境部 担当役員）

副委員長：副総括環境管理者
（安全衛生環境部 部長）

委　員　：事業グループ、機能センターの代表環境管理者　各１名

事務局　：環境企画管理者
（安全衛生環境部 本社安環課長）

〈公害防止管理組織〉

公害防止統括者
正：安全衛生環境部 担当役員
副：安全衛生環境部 部長

公害防止管理者
製造部：部長、工場長
（又は同相当者）
施設部：課長、係長、担当係長
（又は同相当者）

〈廃棄物管理組織〉

産業廃棄物処理責任者
・安全衛生環境部
部長　石宮 隆幸

特別管理産業廃棄物管理責任者
・安全衛生環境部 本社安環課
課長　山田　哲久

産業廃棄物処理施設技術管理者
・施設部付ﾌｧｼﾘﾃｨｰｽﾞ 動力施設
係長　池田　龍一

別紙 資料-3-①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状　【前年度　（令和　元年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック	ガラス類・陶磁器類	金属くず	廃アルカリ	木くず
排出量	4,879 t	221 t	14 t	152 t	10 t	191 t	12 t	17 t

合計　5,496 t

別紙 資料-3-②

②計画　【目標】　（令和 ２年度）

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック	ガラス類・陶磁器類	金属くず	廃アルカリ	木くず
排出量	4,830 t	219 t	14 t	150 t	10 t	189 t	12 t	17 t

合計　5,441 t

別紙 資料－４－①

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状　【前年度実績】　（令和　元年度）

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック	ガラス類陶磁器類	金属くず	廃アルカリ	木くず	合計
全処理委託量	473 t	221 t	14 t	152 t	10 t	191 t	12 t	17 t	1,090 t
優良認定処理業者への処理委託量	470 t	221 t	14 t	147 t	1 t	167 t	12 t	17 t	1,049 t
再生利用業者への処理委託量	214 t	35 t	1 t	52 t	9 t	96 t	1 t	17 t	425 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	6 t	0 t	74 t	0 t	5 t	2 t	0 t	87 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	163 t	14 t	26 t	5 t	0 t	10 t	0 t	218 t

別紙 資料－４－②

②計画　【目標】　（令和　２年度）

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック	ガラス類陶磁器類	金属くず	廃アルカリ	木くず	合計
全処理委託量	468 t	219 t	14 t	150 t	10 t	189 t	12 t	17 t	1,079 t
優良認定処理業者への処理委託量	470 t	219 t	14 t	146 t	1 t	165 t	12 t	17 t	1,044 t
再生利用業者への処理委託量	212 t	35 t	1 t	51 t	9 t	95 t	1 t	17 t	421 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	7 t	0 t	75 t	0 t	5 t	3 t	0 t	90 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	160 t	14 t	26 t	5 t	0 t	9 t	0 t	214 t